



ASAZORA **あさぞらあさぞら** ASAZORA

胎内市立中条中学校 <https://tainai-nakajo-jhs.edumap.jp/>

令和8年1月16日
第17号
☎ 0254-43-2761
教育目標「考える」

60年に一度の^{ひのえうま}丙午

校長 森谷 優子



今年は60年に1度
の^{ひのえうま}丙午です。

「馬が合う」
「尻馬に乗る」
「塞翁が馬」
など、馬にちなんだ
慣用句やことわざは
たくさんあります

が、3学期の始業式に、馬にちなんだ文字を^{きごう}揮毫してみました。今は左から右へ横書きします

が、昔は右から左へ横書きしていました。「^{うまくいく}馬九行久」と読みます。こんな慣用句やことわざはありません。語呂合わせです。60年に一度の丙午は、情熱と変化に満ちた年になると言われています。みんなが、いろいろなことが、「様々うまく行ってほしい」という願いを込め、筆を2本持って書きました。先生たちに「これは飾りましょう」と言われ、すぐに野口技能員さんが、職員玄関付近に飾ってくれました。ご覧いただければ幸いです。

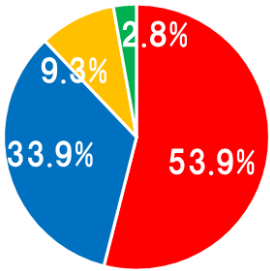
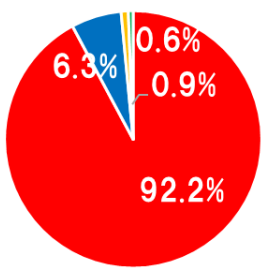
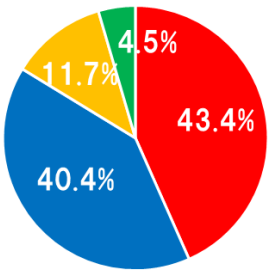
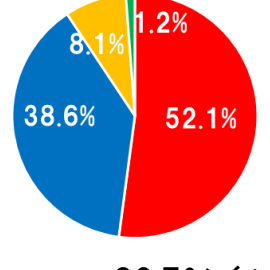
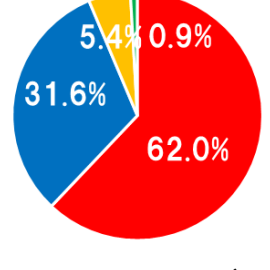
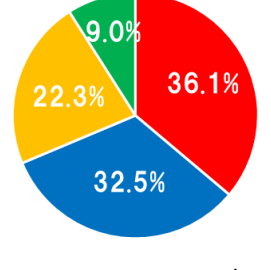


明治安田生命保険 様より
サッカーボールの寄贈がありました。アン
バサダーは三浦知良選手です。

令和7年度第2回学校評価の結果と分析について（報告）

1 生徒アンケートについて

(1) 胎内市共通学校評価項目の達成状況 ※（ ）内は第1回学校評価との比較

①「授業がわかる」を90%以上にする【△】	②「いじめはどんなことがあってもいけない」を100%にする【△】	③「学校に行くのが楽しい」を85%以上にする【△】
 <p style="text-align: center;">87.8% (-1.3)</p>	 <p style="text-align: center;">98.5% (+0.2)</p>	 <p style="text-align: center;">83.8% (-0.4)</p>
④「自分から進んであいさつする」を85%以上にする【○】	⑤「地域や社会をよくするために何かしてみたい」を75%以上にする【◎】	⑥「将来の夢や目標をもっている」を90%以上にする【×】
 <p style="text-align: center;">90.7% (+4.1)</p>	 <p style="text-align: center;">93.6% (-2.3)</p>	 <p style="text-align: center;">68.6% (-4.9)</p>

中条中学校では、胎内市共通学校評価6項目のうち2項目で目標を上回りました。目標に達しなかった4項目のうち「いじめはどんなことがあってもいけない」と回答した生徒は98.5%で肯定的な評価をしなかった生徒が4名で1学期より1人減りました。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答えた生徒は93.6%で目標値(75%)を大きく上回りました。学年別では、学年を追うごとに肯定的な評価が高くなる傾向がみられます。これは総合的な学習の時間における地域学習や中条中学校社の取組が大きく影響していると考えられます。これからも地域社会のために貢献できる生徒、自己実現に向けて学び続けることができる生徒の育成に向け、日々の授業に力を入れて取り組んでいきます。

【教職員での話し合いから】

- ・生徒と教員が今やるべきことを1つ1つ丁寧に頑張っていくことが、これからの中条中学校の土台作りにつながっていく。
- ・専門委員会や学年委員会を使って、頑張っている生徒やよくなりたいと思っている生徒の気持ちを大切にしたい学校運営を行っていくことが必要。
- ・登校時間や授業開始時間、授業時間にトイレに行かなくても済むようにする、決められた時に決められたことをするなど、「時間」を意識した行動ができるように指導、支援していきたい。
- ・努力することや誰かのために頑張ることが素敵なことだと思える生徒を育てたい。正しいことをしている生徒が認められるように、学校と保護者が連携し、みんながすごしやすい学校づくりを進めたい。

2 保護者アンケートについて

(1) アンケート結果の分析（顕著なところ）

- ◎「特色ある教育活動」が行われている。 ※9割以上の高い評価
 - ◎学校はお子さんのためにきめ細やかな対応を行っている。
 - ※どの学年も8割以上だが、学年を追うごとに高くなっており、3年生が一番高い
 - ◎学校は授業や行事等を参観する機会をよく設けている。 ※9割以上の高い評価
 - ▲お子さんは学校での学習内容を理解している ※特に1年生が低い
 - ▲お子さんは人の役に立つことを積極的に行っている(手伝い等) ※特に1年生が低い
 - ▲お子さんは規則正しい生活を心掛け、実践している ※特に3年生が低い
- 以上3項目についてお子さんへの保護者の評価が共通して低い(6割程度)
- ▲3年生の保護者の「学校に行くのが楽しいと考えている」と感じている割合が他学年に比べて低い

(2) 保護者自由記述から

①授業の受け方に関するご心配について

授業参観の様子を見たり、お子さんの話を聞いたりして、授業開始時に教室にいない、離席する、私語をする、授業中トイレに行く等の課題がある生徒について心配する声が複数ありました。「当たり前のことを当たり前にする力」を身に付けておくことは、今後社会に出て活躍しようとする際に大変重要です。教職員も生徒が興味をもてる授業づくりや丁寧な声かけを行っていきます。特に、全校で「時間を意識した行動」ができるように指導、支援をしていきます。

②自転車の乗り方、交通安全への意識について

交通ルールは、自分の命と他人の命を守り、互いに安全に過ごすためにあります。しかし、自転車に乗る際にヘルメットをかぶらないで登下校する生徒がいることや一時停止ができない等の生徒がいて大変危険な状況です。バレなければいいだろうと学校から離れるとヘルメットを脱いだり、交通ルールを守らなかつたりする生徒もいて、たびたび地域の方々から注意を受けています。

今後、ルールが守られない状況が続くようであれば、自転車通学を認めないことも視野に入れ、警察の協力も仰ぎながら対応していきます。命にかかわることですので、ご家庭の責任のもと、交通安全指導の徹底をお願いします。

3 中条中学校の課題とその対応について ~生徒・保護者・職員アンケートの結果から~

(1) 生徒の学力向上、家庭学習の定着の推進について

学校では生徒が「分かる・できる・役に立つ授業」に向けて、授業改善に取り組んでいます。生徒・職員アンケートからは生徒が家庭学習に十分に取り組めていない様子がうかがえます。学校においては家庭学習の必要性や学習内容を選択する方法、学習のプランニングの方法など、家庭学習の定着にむけた支援を行います。ご家庭においても、帰宅後いつ学習をするか一緒に決めたり、頑張りを認めたりするなど、生徒が自宅で学習できる環境づくりにご協力ください。よろしくお願いします。

(2) 他者への誹謗中傷（SNS、悪口）、人権感覚を育む取組について

SNS を用いたトラブルや他者への誹謗中傷、校内における人権感覚を欠いた発言が増えています。12月に実施した中学校区のいじめ防止対策委員会で、警察の方から、**(1)フィルタリング(使えないSNSがある、DMができない)(2)ペアレンタルコントロール(1日にやる時間を制限できる)**の重要性を保護者に話し、すすめてほしいと言われていました。アプリの規約にも書かれている通り、SNS利用は保護者の責任の下利用し、SNSに伴うトラブルは保護者が責任をもって指導を行うことになっています。ご家庭においても他者の人権を大切にすることやSNSの利用方法について指導と管理をお願いいたします。

